

ブリタニカ・オンライン・ジャパンを使ってみよう【その2】

～ ひとつのキーワードから広がる知の世界 ～

ブリタニカ・ジャパン株式会社

ブリタニカ・オンライン・ジャパン(以下 BOLJ)は、日本語の『ブリタニカ国際大百科事典』と英語の *Encyclopædia Britannica*®をベースとした知のポータルサイトです。ちょっとした疑問を持ったとき、本格的に調べ物をしたいとき、レポートのテーマを考えると、まずはBOLJにアクセスしてください。GoogleやYahoo!で検索するのとは異なる確かな情報の世界があなたの前に広がります。前回に引き続き、その例をご紹介します。

第2回の検索テーマは、

「イギリス政治と女性の関係を題材にしたレポートのテーマを見つけない」

です。

◆レポートのテーマに困ったとき

レポートを書くとき、具体的な人物についてのエピソードや著書からの引用を入れると生き生きとした内容になるものです。しかし、机に向かってはみたものの、何を書けばよいのかわからないというときには日本語の百科事典サービスにアクセスしてみてください。テーマにそったキーワードで検索を行い、ヒットした記事を読めば、きっと興味のある事柄に出会えます。マルチメディアも収録されていますので、あわせて読めば記事もさらに理解しやすくなるでしょう(*1)。

ご参考までに、ブリタニカの百科事典はグローバルな視点で編集が行われていますが、スコットランド エディンバラで初版が刊行され、現在アメリカのシカゴに本社を置いている関係上、とくに欧米の情報が充実しています。

それでは、百科事典の項目名のほか記事本文も検索する条件検索(*2)を利用して早速検索してみましょう。「イギリス」AND「政治」AND「女性」で分野を特定せず検索すると、右図のように、小項目事典で20件、大項目事典で39件(34項目)、国際年鑑で34件の記事がヒットします(*3)。

(*1) 記事やマルチメディアを引用する際は出典情報の明記をお願いします。
BOLJでは出典ボタンをクリックするだけで出典情報を表示することができます。

◎小項目で関連事項をチェック

小項目事典では、女性問題を多く取り扱ったイギリスの女流作家、ジャーナリストの「ウェスト」がヒットします。ここで彼女の代表的な作品名を見ることができます。また、英語の百科事典 *Encyclopædia Britannica* へのダイレクトリンクもありますので、英語の記事も是非ご覧ください。「ウーマン・リブ」には、女性解放運動の黎明期の理念は、1792年にイギリスで発行された『女性の権利の擁護』に網羅されていることが書かれており、その著者「ウルストンクラフト」の項目へのリンクも用意されています。

▼ブリタニカ・オンライン・ジャパンのトップページと検索結果

The screenshot shows the Britannica Online Japan homepage with a search bar. A search for 'イギリス' (UK) is performed, resulting in 20 items in the small dictionary, 39 in the large dictionary, and 34 in the international yearbook. The search results are displayed in a list format with a table of contents on the left.

▼Encyclopædia Britannica 『Dame Rebecca West』の記事

The screenshot shows the Encyclopædia Britannica article for 'Dame Rebecca West'. The article text is visible, including her birth name, dates, and her work as a journalist and writer. The article is written in English and includes a table of contents and a list of references.

◎掘り下げるなら大項目事典

・大項目事典では「サッチャー」の項目で彼女の生い立ちから引退までを知ることができます。オックスフォード大学を卒業後 4 年間化学研究者として働きながら弁護士になる勉強をしたことや双子の母であること、さらに「鉄の女」とよばれるようになったきっかけなども書かれています。また、「フェミニズム／婦人参政権運動」や「ミル」の記事には 19 世紀のイギリスにおける婦人参政権運動の概要が書かれています。

◎現代の動きは国際年鑑

国際年鑑「新しい時代に臨むアイルランド／3 人のメアリー」(1999 年)には、隣国アイルランドで 1997 年に 2 人目の女性大統領となったメアリー・マカリス(1951～)が実はイギリス国籍だということが書かれています。さらに、「ギラード」(2011 年)には 2010 年にオーストラリア首相に就任したジュリア・ギラード(1961～)もイギリス生まれでその後オーストラリアに移住したとあります。

<参考> 検索のテクニック

検索語を「女性」ではなく「女」とすると、「女流」、「長女」などにもヒットし、さらに多くの検索結果を得ることができます。思うような検索結果が得られなかった場合は、このように、より広い概念の検索語や同義語に置き換える等の方法もお試ください。

ちょっと
より道

ウルストンクラフトとシェリー

『女性の権利の擁護』を著したウルストンクラフト。女性は男性を喜ばせるためのみ存在しているという考え方に挑むとともに、教育や仕事、政治において女性も男性と同じ機会を得ることを提唱しました。女性解放運動黎明期の理念を象徴する存在となった彼女でしたが、社会思想家ゴドウィンと結婚後、娘を出産する際に産褥熱がもとで亡くなります。享年 38 歳でした。

一方、そのとき生まれた娘は後に女流作家になり、日本でもおなじみの恐怖小説『フランケンシュタイン』を著します。ゴシック小説と SF の混合ともいべきこの作品で創造された人造人間はたびたび映画に登場し、世界で最も著名な怪物の一つになります。

▼大項目事典『サッチャー』の記事

The screenshot shows the Britannica Online Japan page for Margaret Thatcher. The article title is 'サッチャー' (Thatcher, Margaret Hilda). It includes a portrait of Thatcher and a brief biography in Japanese, mentioning her birth in 1925 and her role as the first female Prime Minister of the United Kingdom from 1979 to 1990. The page also features navigation links and a search bar.

The screenshot shows two overlapping article pages from Britannica Online Japan. The top page is for 'ウルストンクラフト' (Wollstonecraft, Mary), detailing her birth in 1759 and death in 1797. The bottom page is for 'シェリー' (Shelley, Mary Wollstonecraft), detailing her birth in 1797 and her work as a poet and feminist. Both pages include portraits and biographical information in Japanese.

◆無料トライアル承り中!

ブリタニカ・ジャパンでは、ブリタニカ・オンライン・ジャパンの全機能を1ヶ月間無料でご利用になれる無料トライアルを受け付けています。実際にお試しになって、その魅力を実感してください。

ブリタニカ・オンライン・ジャパンに関するお申し込み、お問合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 電子商品営業部(電話: 03-6910-0518、ファクス:03-6420-1356、e-mail:online@kinokuniya.co.jp)までお願い致します。

*お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。